

# 行政事業レビュー公開プロセス(6月6日)

## (事業名)若年者地域連携事業

### 評価結果

### 事業全体の抜本的改善

廃止	0	人
事業全体の抜本的改善	2	人
事業内容の一部改善	2	人
現状通り	2	人

#### <とりまとめコメント>

- ・ 本事業の開始時に比べると、近年、若者の雇用情勢は大幅に改善しているが、地域における若者の雇用を促進するという課題は、引き続き重要である。このため、本事業のメニューについて、都道府県の強み・特色を活かした事業内容となるよう既存事業の重点化を行うなど、全般的な見直しを行うべきである。
- ・ また、都道府県に関係者による協議会を設置し、本事業の目標設定から評価まで、公正かつ効果的なPDCAサイクルを進めるとともに、ハローワークや都道府県の単独事業との役割分担を明確化し、連携効果がより一層図られるようにすべきである。その際、国の事業であることから、国がどのような政策的効果を目指しているのか明確にすべきである。
- ・ 以上の事業内容の見直しを踏まえ、当面、国としても好事例の横展開を進めるとともに、将来的には委託費の配分方法のメリハリや、労働環境を踏まえた本事業への国の関わり方についても、段階的に見直しを検討すべきである。

#### <具体的なコメント>

##### ○事業の課題や問題点

- ・ 事業の成熟さ。
- ・ 地域雇用に寄与しているのか、地域課題に対応した施策になっているか検証できていない。
- ・ 事業成果をチェックし施策を見直す継続的な仕組みが必要。
- ・ 時代に合わせた事業のあり方、国がすべきことに集中できていない。
- ・ 協議会の評価に対する評価と次年度以降への委託費の配分は十分に考えて欲しい。

- ・一部の都道府県において一者応札があるなど、実施体制に一定の改善の余地がある。
- ・実施された事業内容と雇用状況改善の因果関係が十分に検証できていない。
- ・この事業の理想は都道府県と密に連携した形とした時に、国の事業と県の事業を分ける必要性は薄まってくるのではないか。
- ・ジョブカフェやその関連事業に都道府県の一般財源がどの程度使われているか把握ができていない。

#### ○評価を選択した理由・根拠

- ・見直しの方向性を実行することを前提としたから。
- ・改善しつつも継続することが有用。
- ・事業創設当初の時代背景は変化しており、国が全国一律で補助すべき役割も合わせて変化しているはず。長期的な視点に立ち、国がサポートすべきことを限定し、地域の実情に合わせた支援は各自治体負担で実施を行うべき。
- ・自主的に合理的な見直しがなされている。一方、国が関与する意義が若干不明確になっている。
- ・本省が関与して、優良事例を全国に広げる意識を持って欲しい。
- ・事業としての社会的必要性は十分に認めることができる。
- ・国が関与することで、ハローワークなど国の事業と都道府県の施策を組み合わせ、シナジー効果を狙うことができる点も含め、有用性が認められる。
- ・すぐにではないが、将来的に委託を補助金に替えていくことを検討すべき。
- ・目標は働こうという意欲を持ち、就職につなげること。そのためには、現場に近いところに財源と権限がある方が良い。

#### ○改善の手法や事業見直しの方向性

- ・積極的な取り組みには、委託費についてもメリハリをつけるべき。
- ・スキームによっては、予算増も視野に入れてもよいかもしれない。
- ・地域の雇用維持は大変重要。地域の工夫や地域のチャレンジ枠もあってよい。こうした好事例に一部配賦し、事例を共有できる仕組みがあると良い。
- ・地域での就職の寄与を把握し、各地域で取り組んでいる施策の有効性を点検すべき。
- ・国が全国を見渡してメリハリを付けないのであれば、都道府県が行う一体的な事業とし、その一部に助成する方法もあるのではないか。
- ・国だからできる支援、体制に集中すべき。
- ・本省が関与して、優良事例を全国に広げる意識を持って欲しい。

- ・ 提案されている見直しの方向性は妥当であり、着実な実現が期待される。
- ・ 実施体制について、一者入札等の問題が発生しないよう継続的に取り組む必要がある。
- ・ 事業の成果については、都道府県間の比較も含め、十分に検証できるよう数量的に把握する必要がある。
- ・ 委託から補助金への変更や事業を都道府県に移管する方向も検討すべき。

#### ○その他

- ・ マクロ的な環境は大きく変化している。無理に看板をかけ替えて事業を継続するのではなく年限を区切って一旦廃止し、若年労働者支援やジョブカフェの姿をゼロベースで見直すべきではないか。
- ・ 「若年者」から外れつつある氷河期世代の雇用状況改善については、本事業に限らず、継続的な取り組みをお願いしたい。